

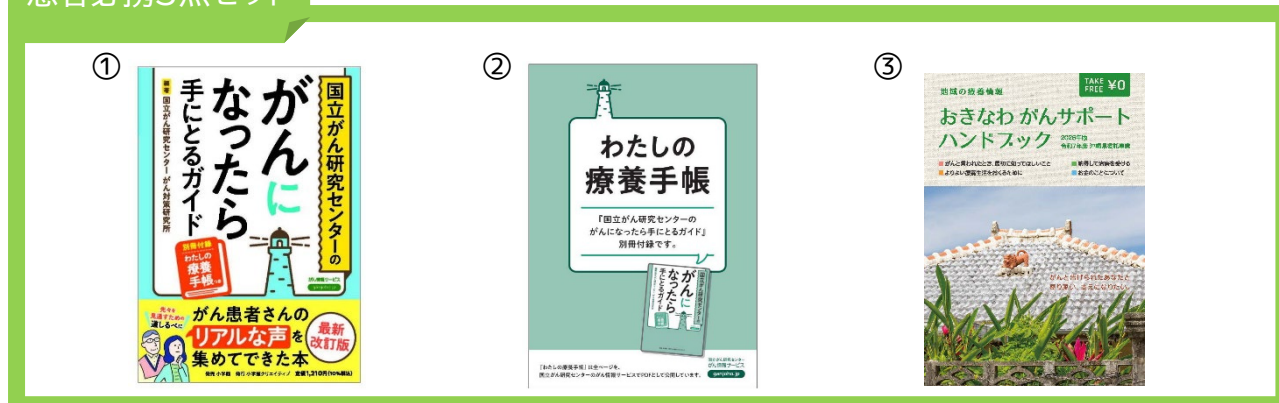
患者必携とは

がんと診断されて、間もない患者さんの思いに寄り添い、支える事の助けとなることを目指して、「信頼できる情報で、わかりやすく、役に立つもの」をまとめたものです。

- ①自分らしい病気との向き合い方を教えていくために読む『がんになったら手にとるガイド』
- ②治療や療養生活について、聞いたり調べたりして理解したことを書き留めて整理する『わたしの療養手帳』
- ③沖縄県内のがん医療に係わる多くの情報をまとめた『地域の療養情報：おきなわがんサポートハンドブック』

患者必携の主な対象は、がんと診断が伝えられて直後（比較的最近）の患者さんです。

患者必携3点セット



患者必携の役割

- 1.がんの治療経過がわかる
- 2.大まかに自分のがんの状況と、今後の見通しの参考になる
- 3.医療者、介護、支援などに対して、初期の理解の手助けになる
- 4.療養や今後の生活に関して調べることで、知るべきことを認識する助けになる
- 5.患者・家族にとって医療者、支援者が共に同じ冊子体を使って情報共有、情報交換することで患者さんにとって役立つ情報が蓄積され、行動に結びつけられる

①『がんになったら手にとるガイド』（A5判サイズ）＋ ②『わたしの療養手帳』

②わたしの療養手帳は、①がんになったら手にとるガイドの別冊付録

- ・がん情報サービスからPDF版を無料で読めて、印刷も可能です。

https://ganjoho.jp/public/qa_links/book/public/pdf/tenitorugaido.pdf

- ・書店での販売価格は1,210円（税込）電子書籍での購読も可能です。

③『地域の療養情報：おきなわがんサポートハンドブック』

- ・沖縄県委託事業の一環により、琉球大学病院がんセンターにて年度毎に改訂版を作成
- ・初版 2011年より現在まで。主な配布先として、県内の医療機関、市町村、保健所、図書館、小中高などに**無料配布**、更に**WEBサイト版及びPDF版も公開中**

<https://www.okican.jp/userfiles/files/gansapo2026.pdf>